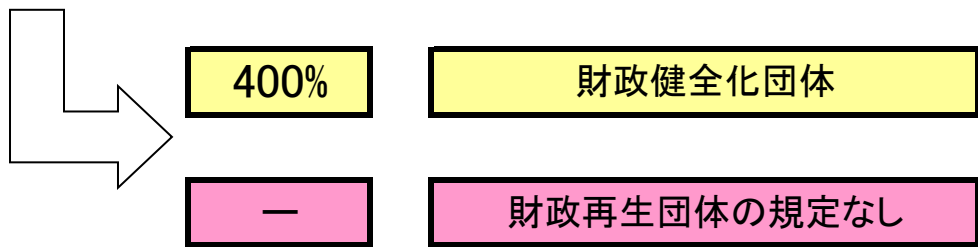


将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき
実質的な負債の
標準財政規模に対する比率

地方債残高や債務負担行為に基づく一定の支出に加え、
従来 of 決算になかった退職給与引当金等を負債と見なし算出



熊本市の将来負担比率

$$\begin{array}{l}
 \text{将来負担比率} \\
 = \\
 \frac{\begin{array}{l} \text{将来負担額} \\ \text{(地方債残高・退職給与引当金等)} \end{array} - \begin{array}{l} \cdot \text{充当可能基金額} \\ \cdot \text{充当特定財源見込額} \\ \cdot \text{基準財政需要額算入見込額} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{標準財政規模} \\ \text{(臨時財政対策債を含む)} \end{array} - \text{基準財政需要額算入額}}
 \end{array}$$

$$\frac{464,012 \text{ 百万円} - 292,548 \text{ 百万円}}{159,765 \text{ 百万円} - 19,861 \text{ 百万円}} = 122.5\%$$

* 参考: 平成24年度決算

$$\frac{448,022 \text{ 百万円} - 280,967 \text{ 百万円}}{158,051 \text{ 百万円} - 19,658 \text{ 百万円}} = 120.7\%$$

早期健全化ライン（400%）を下回っている